

令和4年9月21日 決算特別委員会 議事録
14時00分 開会

○出席委員 (8人)

委員長 山崎 年一

副委員長 藤川 和弘

委員 賀屋 幸治、末広 天佑、小中 真樹雄、小田上 尚典、和田 芳弘、
寺岡 公章

副議長 網谷 芳孝

○賀屋議長 皆さん、お疲れでございます。それでは、ただいまから決算特別委員会を開催いたします。

大竹市議会委員会条例第9条第2項の規定により、委員長が互選されるまでの間、年長の委員が臨時委員長の職務を行うことになっております。年長の委員は和田委員でございます。御紹介いたします。

和田委員、委員長席をお願いします。

○和田臨時委員長 和田と申します。よろしく申し上げます。

定足数に達しておりますので、ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

これより、直ちに日程に入ります。

お諮りいたします。

臨時委員長の職務は委員長の互選だけでございますが、この際、日程1、委員長の互選について及び日程2、副委員長の互選についてを一括議題といたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○和田臨時委員長 御異議なしと認め、本2件を一括して議題といたします。

互選の方法といたしましては、選考委員を選出して決定する指名推選の方法と、投票による方法がございますが、これまでの慣例どおり、選考委員を出して指名推選とすることによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○和田臨時委員長 御異議ないようでございますので、選考委員を出して指名推選ということにいたします。

選考委員は、臨時委員長において指名してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○和田臨時委員長 御異議ないようでございますので、臨時委員長において小中委員、小田上委員、寺岡委員の3名を指名いたします。

選考委員におかれましては、委員長と副委員長をあわせて選考していただきますようお願いいたします。

議事の都合により、暫時休憩いたします。

14時02分 休憩

14時03分 再開

○和田臨時委員長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

選考委員からの報告をお願いいたします。

小田上委員。

○小田上委員 選考委員3名で慎重に検討した結果、委員長を山崎委員、副委員長を藤川委員ということで推選いたします。

○和田臨時委員長 ありがとうございます。

ただいま選考委員の御報告のとおり、山崎委員を委員長に、藤川委員を副委員長に決定して御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○和田臨時委員長 御異議なしと認めます。よって、委員長は山崎委員に、副委員長は藤川委員に決定いたしました。

以上で、臨時委員長の職務を終了いたします。

委員長と交代します。

○山崎委員長 ただいま、私、山崎が委員長に、藤川委員が副委員長に御推挙いただきました。来年度の予算編成に向けて充実した決算審査としたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

以上で簡単ですが、新任の挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、日程3、決算特別委員会の日程についてを議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

議会事務局長。

○三上議会事務局長 決算特別委員会の日程案について御説明申し上げます。

決算特別委員会日程(案)を御覧ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、昨年と同様に予算特別委員会での資料要求と同じような流れとなっております。まず、9月27日火曜日の正午までに、事務局まで書面で資料要求をしていただきます。電子メール、ファクスによる提出でも対応可能です。メールの場合はワードに必要な資料の情報を入力し、メールに添付して送付するようお願いいたします。メール本文への直接入力控えていただければと思います。なお、表などの資料を希望する場合は、どのような表を希望しているのか分かるように、エクセル等のデータで簡単な表のイメージを添付していただくと手直しが少なく済むかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。資料要求を取りまとめた後、担当課に送付し、作成可能かどうか照会します。その際、要求内容に不明な点があれば、担当課から直接要求された議員に電話等で内容を確認していただきます。作成可能な資料は、各担当課において作成していただき、データを取りまとめた後、10月4日火曜日の正午までにサイドボックスに掲載いたします。10月5日水曜日の10時から決算特別委員会を開きまして、委員の要望に沿った資料ができているかどうかの確認をしていただきます。修正が必要であればその際に依頼していただくということで考えております。修正した資料につきましては、10月11

日火曜日、審査初日にサイドブックに掲載ということになるかと考えております。

審査日程でございますが、10月11日、12日、13日と予備日を14日ということで考えております。なお、現在、議会運営委員会での協議・決定事項を踏まえ、常任委員会等につきましても発言の事前通告をしていただくよう御協力をお願いし、会議運営を行っていただいたところでございます。決算特別委員会におきましても、発言通告に関しまして、全会計について10月5日16時までに提出をお願いいたします。また、10月5日に確認する資料に関する質疑につきましては、10月6日の16時までに提出をお願いいたします。

通告書の提出に当たりましては、会議時間の短縮や説明員の待機人数の縮減など、円滑な会議運営のため、項目だけでなく、できるだけ具体的な内容の記載につきまして御協力をお願いいたします。なお、通告書は決算特別委員会終了後に事務局からメールで送付する様式を使用させていただきますよう、よろしくをお願いいたします。

以上でございます。

○山崎委員長 ただいま事務局から説明がありましたが、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○山崎委員長 質疑なしということでございます。

それでは、資料要求につきましては9月27日火曜日正午までに、書面で議会事務局に提出をお願いいたします。

次に、資料の確認のため、10月5日10時から委員会を開催いたします。審査日程につきましては、10月11日、12日、13日と14日は予備日として開催いたします。委員会における発言については、先ほど事務局から説明があった提出期限までに書面による通告に御協力をお願いいたします。なお、事前にレターボックスに配付されている市政のあらましなどの印刷物を決算審査資料として十分に御活用いただくようお願いをいたします。

以上のような取り扱いをしたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○山崎委員長 御異議ないようでございますので、そのような取り扱いをさせていただきます。

ここからは、委員のみの協議となりますので、執行部の皆様方には御退席いただいても結構かと思っております。

それでは、続きまして、日程4、決算審査と議会提案についてを議題といたします。

昨年の決算特別委員会から、決算審査と議会提案に取り組みました。サイドブックに資料を掲載しておりますが、今年も同じように取り組むということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○山崎委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

それでは、決算特別委員会終了後の議会提案について協議をスムーズに進めるために発言通告書の一覧表をサイドブックに掲載することとしたいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○山崎委員長 御異議なしと認め、さよう決定いたしました。

前回の決算特別委員会では、議員提案の意見集約の段階で課題が出て、結局、上程しないという結論になりました。その課題の中には、決算特別委員会のときにどこに注視して審査していくかなどを事前に協議しないと、次の予算編成に何を要望するのか選定が難しいという意見がありました。事前に協議をすることで課題が抽出できるのではないかといいことでもあります。そういったことでせつかくいい制度があるので、この制度を生かして執行部に要請できればいいことで進めていきたいと思っています。じゃあどこに注視するかということですが、サイドブックスに例の質問の一覧表が出ますので、その辺で皆さん研究していただきながら、審議の過程の中でこの問題はいいよね、というのを意識していただく審議の進め方でどうでしょうか。

寺岡委員。

○寺岡委員 要はそれぞれが発言通告をして一覧表が出るので、事前にこの中で審査の本番のときより前に、このあたりをちょっと気をつけて皆さん注目しておきましょうねということ、委員会の中で共有しておくというふうに思っておいたらいいんですか。ですから、そういう場面が一度どこかで共有する場面があるというふうに思ったらよろしいでしょうか。

○山崎委員長 局長、その辺のあたり共有する場面を取れる余裕があるでしょうか。

局長。

○三上議会事務局長 10月5日の資料確認のタイミングがありますので、そのときに資料確認が終わってから協議をするという時間を取れると思います。

以上です。

○山崎委員長 ありがとうございます。10月5日の資料確認のときにはサイドブックスに一覧表が出ているので、それを中心として協議ができるということだろうと思います。

小中委員。

○小中委員 4時か何か15日にその協議のより後じゃないんですか。15日じゃない、5日の何時だっけ、昼まで。

○山崎委員長 はい。

○小中委員 昼までですか。16時って書いてあるでしょ。

○山崎委員長 16時は翌日の16時じゃなかったですかね。

○小中委員 いや、それ資料確認の。

○山崎委員長 資料確認。

○小中委員 資料確認じゃなくて、発言通告そのものが5日の16時でしょ、締切りは。

○山崎委員長 はい。

○小中委員 それなのに、その前にとってできるんですかね。

○山崎委員長 そうですね、できないですね。

○小中委員 論理的に矛盾しているじゃないですか。

○山崎委員長 はい、すみません。そうしますと、委員会の途中でやりますか。どうしたらいいでしょうか、皆さん。どっかで協議する時間が必要でしょうか。

寺岡委員。

○寺岡委員 昨年の決算特別委員の皆さん方がどういった思いを持たれて、そういう申し送りをしてられるのか、というのがちょっとイメージが湧かないというか、忘れてしまっている。事務局が確認できるかな、どうでしょうね。

○山崎委員長 確認できますか、事務局。

局長。

○三上議会事務局長 先ほど委員長が言われたように、決算特別委員会のときに、どこに注視をして審査していくかなどを事前に委員会の中で協議をしておかないと、次の予算編成に何を要望するのか選定が難しい、という理由で昨年は提案を見送られたということになっております。ですから、発言通告が云々ということではなくて、どういったことを提案するかというイメージを皆さんで共有しておかないと、いざ何を提案しますかといったときに、出てくるものがまちまちになるんじゃないかと思っておりますので、そういったところを皆さんのイメージを固めていくべきなのかなというふうに思っております。

以上です。

○山崎委員長 寺岡委員。

○寺岡委員 例えば市民生活に大きな影響があるものであるとか、決算の額面が大きくて来年度の予算に例えば継続費なりなんなりで関わってくるとか、あとは、ぱっと浮かぶのはそういう感じなんです。恐らくそういう概念的なことを共有しておきましょうということかなと受け止めたんですけど。

○山崎委員長 私が思ったのはそういうことでなくて、例えば先日、雑談といいたまうか、話し合いのときにちょっと意見が出たんですけども、学校給食の問題が今回出ましたですね、前回の補正予算のときに。半額補助するんだという話が出ました。そのときには、引き続いてこれからも取り組んでいきたいという執行部の答弁だったと思うんですね。例えばそういったことを議会として取り上げて、要望していけるようになったらどうかなという話がありました。そういったことについて執行部も前向きですから、議会としても取り組んでいったらどうかなというのは、私は内心思っています。ですから、こういったことについて皆さん決算特別委員会として、要望をしていくというふうに私は考えておるんですが、どうでしょうか。執行部として全然そのことに向き合っていないというわけでもないですし、非常に前向きな答弁だったような気がするんで、こういったことについては積極的に協力できるんじゃないかなと思ってまして、そういう話がこの前ちょっと雑談した中で出ましたもので、心に留めておるといっのをちょっとお話しさせていただきました。

そういったことで、これからの審査の中で、皆さんがそれぞれ心の中でそれを意識しながら審査していただきたいということで、思いを共有しておきたいということでもよろしいでしょうか。

小田上委員。

○小田上委員 ざっくりといいのがあったら取り上げようっていう感覚のままだと、前回の決算でうまくいかなかったっていうところで、今回この話になっているんだろうと思うん

です。通告は先ほど小中委員が言われたとおり、時間がまだ通告は終わってない。ただ、1項目これに注目してほしいというものを、いつかのタイミングで委員が1人持ってくるというくらいはできるのかなと。ここは注視してほしいというくらいはできるのかなとは思いますが。であれば、別に通告云々じゃなくても済むのかなと。そこでそこにちょっと耳を傾けておくっていうのはできるのかなとは思いました。

○山崎委員長 和田委員。

○和田委員 こういう問題はね、あれもこれもいっぱいできませんので、題を1個に絞って、それに対してみんなで協議して審議するのはどうかなと思うんですが。

○山崎委員長 ありがとうございます。

賀屋委員。

○賀屋委員 ありがとうございます。各委員がそれぞれ今までのしたためておられる政策であるとかあるいは予算執行の内容であるとかいうことも当然大事なんですけども、各会派、一人会派の方もおられますが、会派の中でも課題として日頃からこのことについてどうかねとかいうような事案があればね、その辺も整理をしていただいて、こういう機会に上げてもらうということでもいいのではないかなというふうに思います。いずれにしても来年度予算にどれだけ実現に向けて、実行に向けて提案をしていけるかということが、1つの課題というふうになっておりますので、そのあたりを積極的にお願いをしていきたいなと思います。

○山崎委員長 ありがとうございます。今、議長がまとめていただいたんですけども、この辺のところよろしいでしょうか。

網谷委員。

○網谷副議長 昨年、見送りになったんですね。それ私の記憶では、最終的には3つぐらいの案が出ましたよね、提案としてね。それ3つを集約するというところでストップになったんですね。今回も今、いろんな方が思い思いに案を練っていただくのはもちろん結構なんですがね、これ、前期委員会の中で最後で一応議論になったところなんです。議会提案をね、一本に絞るんか、それとも前回の例がありましたよね、事例が、取手市だったですかね、あれが7つぐらいの提案をされてそれを議会提案とされったんです。そういうところで今回我々大竹市決算特別委員会としても複数の要望書を出すのか、単独で1本にするのか、これ前の委員会でもちょっともめたんです。複数にすると執行部に対してインパクトが薄くなるというんで、1個に絞ろうというところで決算特別委員会の中で見送りがあったんです。これを複数にするならそのように後で決めるのか、今決めるのか、単独でやるのかというのをその辺ちょっと、後で決めるんならそれでもよろしいし、今決めるんなら決めてもいいし、ちょっと確認だけ教えてほしいですね。

○山崎委員長 ただいまの網谷委員の御意見、絞るべきか絞らざるべきかということだと思いますが、そういったところについてどのように皆さんお考えですか。

寺岡委員。

○寺岡委員 今の時点で、今日サイドブックに貼ってある議会改革特別委員会の議事日程が参考資料で載っとるんですが、その中に各会議での心構え、要は決算特別委員会が終わ

った後の会派会議、議長とか決算特別委員長とかあと本会議にしてもですが、提案することの重みを意識しながらテーマを選定する必要があるということなんで、やっぱり複数出すよりも少ないに越したことはないんじゃないかなというふうに考えています。

○山崎委員長 今、寺岡委員から聞かれたような御意見がありました。それで、状況を見ながら、いや、これもこれもこれも出したほうがいいよね、ということになればそれは当然そうなりますし、あんまり多く出してもなとなるので、少なくしようと、あるいは2つに絞ろうとか1つにしようとかいうことになればそれで。また、それは決算特別委員会が済んでから議論をするということではいけないでしょうか。

○寺岡委員 いや、いいと思います。

○山崎委員長 ではそういうことにさせていただくということによろしいですか。

そのほかございますでしょうか。

小田上委員。

○小田上委員 すみません、確認なんですけど、10月5日には、議長から提案いただいた会派なり委員で考えたのを1つ持ってくる、ということでもいいんですかね。それはせずにやってみてということなのか、ちょっと明確に、どっちに決まったっけなと思ったのでお願いしたいです。

あと、通告に載ってる質疑以外で取り上げられたもの、質疑の中で出てきたもの、関連として出てきたもので、よかったねと、実はそこが芯くってたねみたいなものがあつた場合はそれはテーマとしてのせてもいいのか、もう通告にあるものだけなのか、そこをちょっと確認したいです。

○山崎委員長 ただいま小田上委員から通告にあるものを絞るべきかと、そうでなくていいのかという話がありました。ここらあたりについての考え方についても、通告で上がったものが重要であれば当然入れたほうがいいでしょうし。どうでしょうか、その辺について、決算特別委員会が終わった段階で審議していくということのほうがいいような気がしますけども、皆さんいかがですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○山崎委員長 はい。それでは、そういう形で決算特別委員会の審議が終わった後でしっかりと絞り込みをやるということで、よろしく願いをいたします。

5日持ち寄りはないということによろしいでしょうか。

はい、それではその他何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○山崎委員長 ないようでございますので、以上で、日程5については終了いたします。

以上で、全ての日程を終了いたしましたので、決算特別委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

14時29分 閉会